

医療、運動、歴史3年生独学

探究成果堂々と

八学光星高アワード

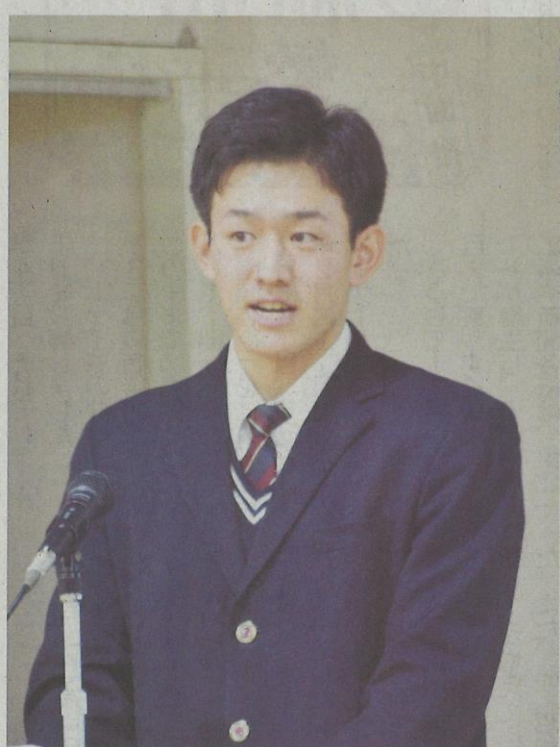
八戸学院光星高(中村良寛校長)は3日、3年生が総合的な探究の成果を発表する「HGK Award(アワード)」を開いた。3年生から選ばれた4人と1グループが登壇。1、2年生約500人の前で多彩なテーマの研究内容を披露した。(上條哲洋)

同校では、1年生から週1時間を総合的な探究に充て、それぞれ独自にテーマを設定して情報収集や調査活動を実施。同Awardは3年生が下級生に見本を示す機会として2022年度から開いている。

成果を発表。テーマは「すい臓がん患者を救うために放射線技師ができること」「幼少期の過ごし方と運動能力の関係」などがあり、生徒へのアンケートや当事者へのインタビューも盛り込まれていた。

進学コース3年の小平花恋さん(18)は「なぜ歴史嫌いが起こるのか?」歴史に興味を持つってもらうには「〜」をテーマに設定。3年生を対象としたアンケートを行い、「日本史は好きか」「東北の歴史や伝承で知っていること」などを聞いた。

まとめで「歴史は覚えることが多く、暗記中心になってしまおう」とした小平さん。発表後の取材に「歴史には物語があり、人物を知ること楽しい。中学校の社会科の教員になり、歴史の面白さを伝えたい」と力を込めた。



総合的な探究の成果を発表する生徒